

# だっこするよ

平成30年3月

社会福祉法人茂原高師保育園

北区立赤羽台保育園

〒115-0053 東京都北区赤羽台1-4-11-105

TEL 3900-0189 FAX 3907-8690

園長 奥戸 昌子



進級、ご卒園 おめでとうございます。これからも信頼の輪の中で・・・

昨年の桜舞う4月、玄関で泣き伏していたお友だちも6月頃には笑顔で「おはよう～」と目で挨拶を交わして、大好きな担任たちの顔を見ると急いで保育室へ行こうとしています。クラス内の信頼関係が生まれ、安心した表情が嬉しいです。ひよこ組さんもみんな優しくてお世話屋さんです。自分のことはほっといて泣いているお友だちのことが気になりお世話してくれます。人は満たされると相手の心を汲むんだ～と・・・子どもたちの中に一人の人間としてその尊厳が、こうして育っているのだと思う毎日です。育ち合う大切な時間を見せてもらっています。

自分で上着のファスナーを閉めようと・・・孤軍奮闘する1歳さん。直面する自身の課題に向かって、毎日、毎日真剣に取り組む姿は、「大人に頼らず自立するぞ。」と周りに宣言しているようです。そして、出来たときの嬉しそうな顔。充実感を持って自らチャレンジする意欲は「生きる力」です。2歳さんはもう友だちと協力してごっこ遊びが始まっています。相手の気持ちも汲みつつ・・・喧嘩しながら大きくなりました。

幼児組の戸外活動は、清水坂公園や島下公園など東西南北出かけました。赤羽の自然に出会い、工事現場を見て、ひたすら歩いた道のりを思うと子どもの持つ底力に感動します。一步一步と歩くから足元に見える景色、歩くから身体の奥底に育つ力があります。情報化社会は益々進化して地球の裏側の情報も瞬時に手に入りますが、先ず育てたいのは心と身体です。いつか、健康な自分の足で世界を歩き、健康な心で沢山の人々と出会い、つながり、毎日をワクワクと面白がって過ごし、自分育てをしながら幸せな人生を歩むことでしょう。その幸せの根っこ、僕は僕でいいという自信、自己肯定感をこれからも育んでいきます。大人との信頼の中で根っこは育ちません。

昨今、こどもが関わる社会問題は増えるばかりです。虐めや不登校など、こども自身は望んでいなかったでしょう。こどもの育つ社会環境・・・ヒトも物も情報もそして政策も育つ環境は十分に考え、自分で考えて人生を決めれる子供へ、乳幼児期には社会、大人からの愛情と経験貯金が何よりも不可欠だと想います。

児童憲章では「児童は、人として尊ばれる。児童は社会の一員として重んじられる。児童はよい環境の中で育てられる。」とあります。この国の子どもをどう育てるかを制定したものです。社会が子どもたちの生きる権利を守るように、どの子にも健全な心身の発達を保証し、「あなたは社会の大事な子だよ。」と愛情と信頼の中で育てていきたいと強く思います。

平成29年度保育所保育指針が改訂され、更なる乳児保育の充実、保育計画と評価、幼児教育の位置づけ、職員研修、保育の質が国策として保障されることになりました。こどもたちの人格が育つ場所として養護と教育の最善の利益を提供していけるように役割と責任を果たして参ります。どうぞ30年度も子どもたちを真ん中にして大人の信頼の中で育てていきましょう。良きパートナーになりましょう。

24日、卒園式を迎えます。私たちの宝、地域の宝、社会の宝である子どもたちを心より祝福したいと思います。卒園後も是非地域でつながっていきましょうね。一人ひとりがかけがえのない存在です。

旅立ちの春を祝うように桜のつぼみもふっくらしてきました。年長さんたちと卒業制作の自分の手で作る雑巾縫いを行います。まとまりの時間を大切に過ごします。自分の船を前へ前へと漕ぐその背中は、とても遅しく大きくなりました。大海原への出航はもう直ぐです。(写真は年長さんの生活発表会の様子です)